

土木工学・建築学委員会
デザインをめぐる知の構築と社会的理解分科会（第26期・第7回）

議 事 要 旨

1. 日 時 令和7年6月16日（月）11:00～12:00
2. 会 場 対面・オンライン ハイブリッド会議
3. 出席者 佐々木 葉・伊藤 香織・小野田 泰明・小野 悠・片桐 由希子・川崎 昭如
・近藤 存志・斎尾 直子・坂井 文・田井 明・高橋 良和・中嶋 節子
・松田 曜子・村上 暁信・山本 佳世子
※下線は欠席 事務局：鈴木 祐次

4. 議題および決定事項

（1） 前回議事要旨の確認

前回（第6回）の議事要旨の確認を行った。

（2） シンポジウムの振り返り

申し込み者304名中191名が参加した。

成果として多分野（建築・土木・歴史など）の交差による議論の重要性が再認識された。

また、「デザインは飾りではなく、社会の骨格を構築するもの」との認識が共有された。

（3） 今後の活動について

当初の予定通り、活動成果を冊子や記録としてまとめることが確認された。

内容等に関して以下のような意見が出された。今後の分科会でも内容に関して議論をしていく。

- ・教育現場で活用できるような教材的アウトプット（学生・一般向け）を意識。
- ・建築・土木それぞれの分野で「デザイン」の捉え方が異なり、その差を埋める必要がある。

分科会はおおむね当初の予定通り開催していき、可能であれば対面での開催も検討する。

（4） その他

特になし

以上